

SMR の形成及び効果の広域的拡大の促進に係る FS の実施・検証  
 ～FS 参加者へのアンケート（設計案）～

1. 前提条件

(1) 「SMR の形成及び効果の広域的拡大の促進」に向けた具体的取組概要（R2～4 年度の流れ）

<具体的取組概要>

- ◎ 第一段階 地域と連携した新たなビジネススタイル・ライフスタイルの検討（R2 年度実施済）
  - ・リニア中間駅周辺の豊かな地域環境と融合した新たなワークスタイルに関するニーズ調査
  - ・実証実験に向けた企画・調整、実証実験計画の策定
- ◎ 第二段階 実証実験及び効果検証
  - ・都心のワーカー・企業を対象としたテレワークやワーケーションの促進
- ◎ 第三段階 リニア開業を見据えたロードマップの策定（R4 年度）

※赤枠が R3 年度

(2) 実証実験の目的（実証実験計画（案）抜粋、下線部は今年度検証を行う事項と関連）

スーパー・メガリージョン構想を踏まえ、大都市の利便性を享受する豊かで潤いのある生活や多様な働き方の実現、首都圏内のクリエイティブ人材やイノベーション人材との対流を促すための新たな場・仕組みの形成、多様な地域資源との交流による中間駅周辺地域への成長の機会創出等に資することを目的とする。

(3) 今年度業務において検証を行う事項（実証実験計画（案）抜粋）

検証事項	検証のポイント	対応する調査項目
首都圏との対流を促すための新たな仕組み、場づくりに関する検証	①拠点（ワーク、宿泊）が備えるべき機能（ハード/ソフト面） ②各種コンテンツ（体験プログラム、食事等）に期待される提供価値 ③実証実験によってもたらされた、個人・企業等にとっての効果等 ④対流促進に資すると考えられる、各種インセンティブの効果と留意点	(ア) 参加者側のニーズの把握 ◎企業向けアンケート ・インセンティブの活用・評価、参加動機、ワーケーション実施にあたっての不安 等 ◎ワーカー向けアンケート ・宿泊先満足度、仕事をを行った場所満足度、滞在中の食事満足度、参加動機、ワーケーション実施にあたっての不安 等 (イ) 受入側の把握 ◎受入地域向け（宿泊施設、体験コンテンツ等提供者 等）

検証事項	検証のポイント	対応する調査項目
		・準備したこと、受入数（企業、人数）、参加動機、ワーケーション受け入れにあたっての不安等
地域主体の持続的な取組に向けた成果・課題、方向性の把握・検証	①実証実験によってもたらされた、地域にとっての効果等 ②効果的かつ効率的な各種主体との連携に向けて必要となる、要件やプロセス等 ③効果的かつ効率的なプログラム運営に必要となる、コーディネーターが備えるべき要件・要素等	◎受入地域向け（宿泊施設、体験コンテンツ等提供者等） ・受入数（企業、人数）、期待したこと、満足度、受け入れ意向 等 ※コーディネーターも含めて、当事者へのヒアリングをあわせて実施し、総合的に分析する。

※「他の中間駅周辺地域への展開を見据えた成果・課題の抽出・検証」は表中のアンケート及びヒアリング結果から要素を抽出して取りまとめる。

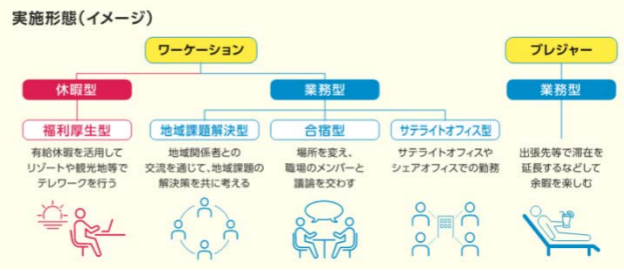
※本資料をベースに、最終的にはアンケート票として整理する（タイトル、調査目的、個人情報の取り扱い等は改めて追加）。

#### （４）調査一覧

調査対象	概要・把握する項目等
企業（窓口を経由してワーケーションプログラム（テレワーク含む）を構築・実践した企業）	<input type="checkbox"/> 実験参加までのプロセス <input type="checkbox"/> 利用状況（実施時期、日数等） <input type="checkbox"/> インセンティブの活用・評価 <input type="checkbox"/> 評価（期待したこと、実施にあたっての不安、満足度、推奨度等） <input type="checkbox"/> リニア中央新幹線に対する意向 <input type="checkbox"/> 基礎情報
ワーカー（上記企業に所属する従業員等）	<input type="checkbox"/> 利用状況（実施時期、日数等） <input type="checkbox"/> 利用状況・評価（宿泊先、仕事を行った場所、食事、体験コンテンツ等） <input type="checkbox"/> リニア中央新幹線に対する意向 <input type="checkbox"/> 基礎情報
受入地域（宿泊施設、コンテンツ提供者等）	<input type="checkbox"/> 実施状況（受入時期、受入数、準備したこと等） <input type="checkbox"/> 評価（期待したこと、受入にあたっての不安、満足度等） <input type="checkbox"/> 感想・要望 <input type="checkbox"/> 基礎情報 ※コーディネーターに対しては個別ヒアリングにて定性的に把握

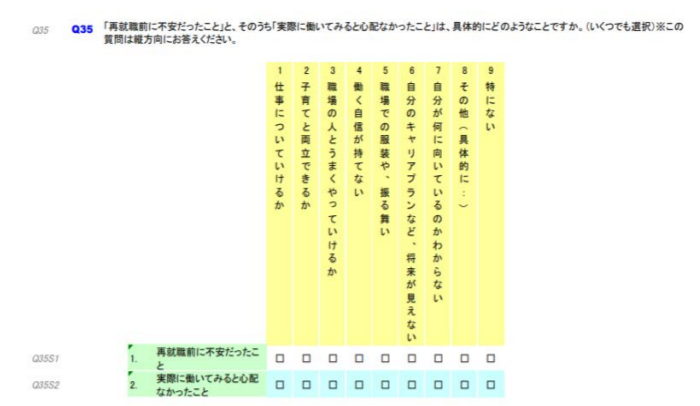
2. 調査項目（案）

(1) 企業向け（人事担当者もしくは経営者等による回答を依頼、回答理由の深掘りはアンケート回答後に実施する個別のヒアリング（インセンティブを利用する10社中心）で実施）

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	1	実験参加までのプロセス	本実験を知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスリリース（国土交通省関東地方整備局）を見たこと</li> <li>・プレスリリース（神奈川県相模原市）を見たこと</li> <li>・プレスリリース（その他）を見たこと</li> <li>・雑誌広告を見たこと</li> <li>・本事業のポータルサイトを見たこと</li> <li>・本事業のFacebook ページを見たこと</li> <li>・取引先や関係者等からの紹介があったこと</li> <li>・「リニア中間駅周辺の豊かな地域環境と融合した新たなワークスタイルに関するニーズ調査」（令和2年度）に回答したこと</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>	広報手段の効果を検証するために設定
SA	2-1	利用状況	実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月</li> <li>・8月</li> <li>・9月</li> <li>・10月</li> <li>・11月</li> </ul>	—
FA	2-2	利用状況	実施日数		—
SA	3	利用状況	実施形態 ※最も当てはまるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型（地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考える）</li> <li>・合宿型（場所を変え、職場のメンバーと議論を交わす）</li> <li>・サテライトオフィス型（所属するオフィス以外の施設等を就業場所とする働き方）</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>	 <p>実施形態(イメージ)</p> <p>ワーケーション</p> <p>福利厚生型: 有給休暇を活用してリゾートや観光地等でテレワークを行う</p> <p>地域課題解決型: 地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考える</p> <p>合宿型: 場所を変え、職場のメンバーと議論を交わす</p> <p>サテライトオフィス型: サテライトオフィスやシェアオフィスでの勤務</p> <p>プレジャー型: 出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむ</p> <p>※参考（上記出典）観光庁「新たな旅のスタイル」</p>
FA	4-1	利用状況	参加者数		※募集時点で人数制限を行う理由がないため自由記述
FA	4-2	利用状況	参加者数（職種内訳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理（会社役員、その他の法人・団体の管理職員等）</li> <li>・専門・技術①（設計・開発・製造・建築・情報等の技術者）</li> <li>・専門・技術②（医師、弁護士、経営、金融等）</li> <li>・専門・技術③（情報処理、ソフトウェア開発等）</li> <li>・専門・技術④（教員、保育士、栄養士等）</li> <li>・専門・技術⑤（美術家、デザイナー、音楽家等）</li> <li>・事務（人事、総務、医療・介護等）</li> <li>・販売（商品販売、営業等）</li> <li>・サービス（保健医療、生活衛生、接客等）</li> <li>・保安（警察官、消防員等）</li> <li>・農林漁業</li> <li>・生産工程（製品製造、加工処理、機械組立等）</li> <li>・輸送・機械運転（バス・電車等の運転士、クレーン運転、航海士等）</li> <li>・建設・採掘（大工、左官、電気工事作業員等）</li> <li>・運搬・清掃・包装等（郵便集配、ごみ収集等）</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>	職種はR2アンケート準拠

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
FA	4-3	利用状況	参加者数（日帰り/宿泊内訳）		—
SA	5-1	利用状況	訪問・滞在に要した費用負担（社員分）	①交通費 ②宿泊費 ③その他（食費、遊興費等） ・社員負担あり→全額 or 一部を把握 ・社員負担なし	※ヒアリングの際、負担の整理をどのように行ったかを把握。
SA	5-2	利用状況	訪問・滞在に要した費用負担（社員の同業者分）	①交通費 ②宿泊費 ③その他（食費、遊興費等） ・社員負担あり→全額 or 一部を把握 ・社員負担なし ・該当なし（同業者を認めなかったため）	※ヒアリングの際、負担の整理をどのように行ったかを把握。
MA	6-1	利用状況	宿泊先 ※複数施設利用も想定されるため、MAとしたが、最も長く滞在した施設に限定してSAとするのも一案	・柚子の家 ・おおだ山荘 ・無形の家 ・藤野倶楽部（結びの家、キャンピングカー等） ・藤野芸術の家 ・陣溪園 ・日相園 ・その他（）	※満足度（5段階評価）も把握 5：満足 4：やや満足 3：どちらともいえない 2：やや不満 1：不満 ※現時点では、実証実験計画案記載の施設を中心に掲載（場合によっては自由記述とすることも想定）
MA	6-2	利用状況	宿泊先（重視した条件）	・利用価格が適正であること ・希望に合った支払方法があること ・口コミ、利用者の評判 ・インターネット（Wi-Fi含む）環境が整備されていること ・情報セキュリティ対策が充実していること ・部屋の設備や広さ ・チェックイン・チェックアウトの対応時間 ・食事の内容 ・アメニティや備え付け用品 ・会議室、応接室等が利用できること ・小さな子どもに合わせたサービスがあること ・最寄り駅からの交通手段が確保されていること ・災害や事故発生（感染症等も含む）時の安全性が高いこと ・その他（）	※参考（厚生労働省） <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/000505175.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/000505175.pdf</a> ※宿泊先を決定した方の意見に基づき回答いただく
MA	7-1	利用状況	仕事を行った場所 ※複数施設利用も想定されるため、MAとしたが、最も長く滞在した施設に限定してSAとするのも一案	・宿泊先 ・森のイノベーションラボFUJINO（森ラボ） ・藤野倶楽部 ・その他（）	※満足度も把握
MA	7-2	利用状況	仕事を行った場所（重視した環境）	・利用価格が適正であること ・オフィスが静かであること ・情報セキュリティ対策が充実していること ・通信、クラウド環境が充実していること ・プリンター等の事務用機器が充実していること ・電話専用の防音区画があること ・会議室、応接室等が利用できること ・ドリンクバー、キッチン等の飲食設備が充実していること ・ソファやマッサージチェアなどのリラックスできる設備があること ・受付スタッフが常駐していること	※選択肢はR2アンケート準拠 ※仕事を行った場所を決定した方の意見に基づき回答いただく

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・最寄り駅からの交通手段が確保されていること</li> <li>・災害や事故発生（感染症等も含む）時の安全性が高いこと</li> <li>・その他（）</li> </ul>	
SA	8	利用状況	体験コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林体験</li> <li>・発電体験（太陽光発電システムDIY）</li> <li>・機織り・養蚕体験</li> <li>・侍、日本文化体験</li> <li>・衣の自給自足制作</li> <li>・かご編み、植物雑貨制作体験</li> <li>・民族楽器制作</li> <li>・ガチャガチャ玩具による発想法ワークショップ</li> <li>・組織イノベーション創発ワークショップ</li> <li>・その他（）</li> </ul>	<p>※具体的な選択肢はコーディネーターと調整の上、確定。</p> <p>※選んだ理由等は「実施形態」とあわせて、ヒアリングの際に把握。</p>
SA	9-1	インセンティブの活用・評価	活用の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタカー利用に関する補助を活用</li> <li>・公共交通利用に関する補助を活用</li> <li>・活用していない</li> </ul>	※ヒアリングの際、活用したインセンティブを選択した理由（≒他のインセンティブを選択しなかった理由）を把握。
SA	9-2	インセンティブの活用・評価	満足度 ※「活用あり」を回答対象	5段階評価	—
FA	9-3	インセンティブの活用・評価	満足度（理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	—
SA	9-4	インセンティブの活用・評価	インセンティブによる実験参加判断への影響	5：影響した 4：やや影響した 3：どちらともいえない 2：あまり影響しなかった 1：影響しなかった	5段階評価
SA	10-1	評価	申込み時に係る満足度（ポータルサイトからの問い合わせ）	5段階評価	—
FA	10-2	評価	申込み時に係る満足度（ポータルサイトからの問い合わせ、理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	—
SA	10-3	評価	申込み時に係る満足度（各種手配（宿泊、体験コンテンツ等））	5段階評価	—
FA	10-4	評価	申込み時に係る満足度（各種手配、理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	<p>※ヒアリングの際、ワンストップで宿泊等の手続きが可能な仕組み（例：地域限定旅行業登録を有する事業者等がコーディネート機能を担う）に対するニーズ等を深掘りして把握。</p>
SA	10-5	評価	申込み時に係る満足度（地域資源等の情報提供面）	5段階評価	—
FA	10-6	評価	申込み時に係る満足度（地域資源等の情報提供面、理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	<p>※地域資源（宿泊施設、各種コンテンツ等）の情報提供に絡め、プログラム構築時におけるコーディネーターに対する印象、要望等をヒアリングの際に把握。</p>

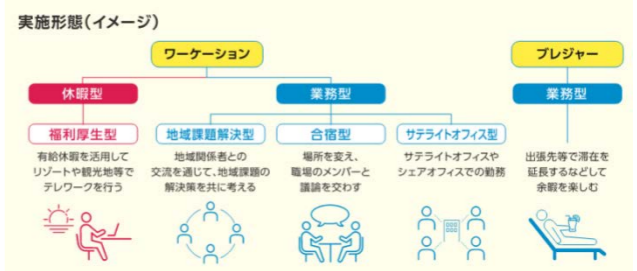
種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
SA	11	評価	参加動機（期待したこと） ①実施前の期待度（5段階） 5：期待していた 4：やや期待していた 3：どちらともいえない 2：あまり期待していなかった 1：期待していなかった ②実施後の評価（5段階） 5：期待を上回った 4：やや期待を上回った 3：どちらともいえない 2：やや期待を下回った 1：期待を下回った	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型的業務の生産性向上</li> <li>創造的業務の生産性向上</li> <li>従業員のモチベーション向上</li> <li>従業員の成長機会の創出</li> <li>業務への集中力向上</li> <li>社内コミュニケーションの強化</li> <li>多様性のある働き方の浸透</li> <li>新たな交流・人脈づくりの機会創出</li> <li>新たなビジネスや企画等のヒントを得る機会の創出</li> <li>その他（）</li> </ul>	※選択肢は R2 アンケート参考
MA	12-1	評価	ワーケーション実施にあたっての不安（実施前）	<ul style="list-style-type: none"> <li>オン/オフの切替が難しいのではないか</li> <li>業務効率が低下するのではないか</li> <li>社内コミュニケーション（ワーケーションを実施する者と社内等で業務に従事する者との間）が低下するのではないか</li> <li>顧客等外部対応に支障が出るのではないか</li> <li>情報セキュリティの侵害があるのではないか</li> <li>ワーケーションによるメリットがないのではないか</li> <li>勤怠管理が難しいのではないか</li> <li>実施中の仕事の適切な評価が難しいのではないか</li> <li>その他（）</li> <li>特になし</li> </ul>	※参考 <a href="http://teleworkkakudai.jp/event/pdf/telework_soumu.pdf">http://teleworkkakudai.jp/event/pdf/telework_soumu.pdf</a>
SA	12-2	評価	ワーケーション実施にあたっての不安（実施後）	※上記で選択した不安毎に実施してみての実感を把握（実施してみると心配なかったことをチェック）	<b>【設問イメージ】</b>  <p>参照：  <a href="https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/dl/h26-02_itakuchousa00.pdf">https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/dl/h26-02_itakuchousa00.pdf</a></p>
SA	13	評価	総合的な満足度	5段階評価	—

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
SA	14-1	評価	推奨度（社内等に対して）	10段階評価→推奨者の割合から批判者の割合を引いて算出 9～10：推薦者 7～8：中立者 0～6：批判者	※参考（推奨度（NPS）の考え方） <a href="https://www.nttcoms.com/service/nps/column/20200825/">https://www.nttcoms.com/service/nps/column/20200825/</a>
FA	14-2	評価	推奨度（理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	—
SA	15	評価	ワーケーションに対する意向（全般）	5：定期的に実施したい 4：不定期で実施したい 3：どちらともいえない 2：あまり実施したいとは思わない 1：実施したいとは思わない	—
SA	16	評価	ワーケーションに対する意向（実証実験エリアへの再訪意向）	5：訪れたい 4：やや訪れたい 3：どちらともいえない 2：あまり訪れたくはない 1：訪れたくはない	—
FA	17	評価	感想・要望		※ヒアリングの際、感想・要望の記載をベースに、ワーケーション等を拡大するために取り組むとよいと考えられるアイデアや行政等に求められる支援のあり方などを深掘りする。
SA	18-1	リニア中央新幹線に対する意向	リニア中央新幹線開業後の（仮称）神奈川県駅周辺地域に対する関心	5：関心がある 4：やや関心がある 3：どちらともいえない 2：あまり関心がない 1：関心がない	※他の中間駅も含めて、一般的な利用意向を聞くべきかは要検討（R2アンケートで関連する内容＜ビジネスでの利用意向有無、利用しない場合の理由、リニア開通による中間駅ごとに想定される影響＞は把握している） ※参考（長野県） <a href="https://www.pref.nagano.lg.jp/kotsu/kurashi/kotsu/shisaku/documents/dai3syou_3.pdf">https://www.pref.nagano.lg.jp/kotsu/kurashi/kotsu/shisaku/documents/dai3syou_3.pdf</a>
FA	18-2	リニア中央新幹線に対する意向	リニア中央新幹線開業後の（仮称）神奈川県駅周辺地域に対する関心（理由）	上記回答に至った理由を記載いただく	※ヒアリングの際、利用が想定できる条件（時間、価格等）を深掘りする
SA	19	FS（基礎情報）	設立年数	・3年未満 ・3年～5年未満 ・5年～10年未満 ・10年～30年未満 ・30年～50年未満 ・50年以上	・クロス集計時の活用を想定（特にターゲット像に掲げた「設立年数の若い企業」の意向把握） ※選択肢はR2アンケート準拠
SA	20	FS（基礎情報）	業種	・農業・林業・漁業 ・鉱業・採石業・砂利採取業 ・建設業 ・製造業 ・電気・ガス・水道・熱供給業 ・情報通信業 ・運輸業・郵便業 ・卸売業・小売業	・クロス集計時の活用を想定（特にターゲット像に掲げた「クリエイティブ系業種」の意向把握） ※選択肢はR2アンケート準拠

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融業・保険業</li> <li>・不動産業・物品賃貸業</li> <li>・学術研究・専門・技術サービス業</li> <li>・宿泊業・飲食サービス業</li> <li>・生活関連サービス業・娯楽業</li> <li>・教育・学習支援業</li> <li>・医療・福祉</li> <li>・複合サービス事業</li> <li>・その他のサービス業</li> <li>・公務</li> <li>・その他</li> </ul>	
SA	21	FS (基礎情報)	従業員人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5人以下</li> <li>・6人～20人</li> <li>・21人～50人</li> <li>・51人～100人</li> <li>・101人～300人</li> <li>・301人～500人</li> <li>・501人～1,000人</li> <li>・1,001人以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定</li> <li>※選択肢は R2 アンケート準拠</li> </ul>
SA	22	FS (基礎情報)	所在地 (市区町村も把握)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都</li> <li>・埼玉県</li> <li>・千葉県</li> <li>・神奈川県</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定</li> <li>※選択肢は R2 アンケート参考</li> </ul>
SA	23-1	FS (基礎情報)	ワーケーション・レジャー実施状況 (それぞれ把握)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施したことがある</li> <li>・実施したことがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【レジャー】</li> <li>ビジネスとレジャーを組み合わせた造語、出張等の機会を活用して出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむこと</li> <li>※参考 (観光庁「新たな旅のスタイル」)</li> </ul>
FA	23-2	FS (基礎情報)	ワーケーション実施状況 (実施地域、都道府県単位) ※ワーケーションを「実施したことがある」が対象 ※企業のプログラムとして実施したものに限ることを想定		—
FA	24	FS (基礎情報)	回答者情報	社名、氏名、連絡先 (TEL、メールアドレス)	・別途実施するヒアリング調査のために把握



(2) ワーカー向け (表中の SA は単一回答、MA は複数回答、FA は自由記述を意味する (以下、同様))

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
SA	1	利用状況	実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月</li> <li>・ 8月</li> <li>・ 9月</li> <li>・ 10月</li> <li>・ 11月</li> </ul>	—
SA	2	利用状況	実施形態 ※最も当てはまるもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域課題解決型 (地域関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考える)</li> <li>・ 合宿型 (場所を変え、職場のメンバーと議論を交わす)</li> <li>・ サテライトオフィス型 (所属するオフィス以外の施設等を就業場所とする働き方)</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul>	 <p>※参考 (上記出典) 観光庁「新たな旅のスタイル」</p>
SA	3	利用状況	同伴者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり (※会社同僚は除く)</li> <li>→属性 (配偶者、子ども、親) を回答いただく</li> <li>・ なし</li> </ul>	ワーケーションプログラム (子どもや家族とともに過ごす) の実践有無を把握
MA	4-1	利用状況	交通手段 (出発地最寄駅～目的地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車</li> <li>・ バス</li> <li>・ 自家用車</li> <li>・ 社用車</li> <li>・ レンタカー</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※選択肢は R2 アンケート参考 (通勤・通学手段)</li> <li>※「目的地」の表現は要検討</li> </ul>
SA	4-2	利用状況	所要時間 (出発地最寄駅～目的地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15分未満</li> <li>・ 15～30分未満</li> <li>・ 30～45分未満</li> <li>・ 45～60分未満</li> <li>・ 60～75分未満</li> <li>・ 75～90分未満</li> <li>・ 90～120分未満</li> <li>・ 120分以上</li> </ul>	※選択肢は R2 アンケート準拠
MA	5	利用状況	交通手段 (到着後、地域内にて利用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自家用車</li> <li>・ 社用車</li> <li>・ 相模原市内で借りたレンタカー</li> <li>・ 相模原市外で借りたレンタカー</li> <li>・ バス</li> <li>・ タクシー</li> <li>・ デマンド交通</li> <li>・ その他 ( )</li> </ul>	インセンティブとの紐づけ
FA	6	利用状況	滞在中の時間 (日単位) の使い方 (仕事と休暇の割合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事 : ●%</li> <li>・ 休暇 (観光、体験コンテンツ、食事等) : ●%</li> <li>・ その他 : ●% (睡眠等の休養)</li> </ul> <p>※合計 100%になるように記載いただく</p>	満足度等の詳細分析を実施する場合の活用を想定して設定

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
SA	7-1	利用状況	訪問・滞在に要した費用負担 (回答者分)の有無	①交通費 ②宿泊費 ③その他(食費、遊興費等) ・自己負担あり→全額 or 一部を把握 ・自己負担なし	—
SA	7-2	利用状況	訪問・滞在に要した費用負担 (同伴者分)の有無 ※「同伴者あり」回答者対象	①交通費 ②宿泊費 ③その他(食費、遊興費等) ・自己負担あり→全額 or 一部を把握 ・自己負担なし	—
SA	8	利用状況	滞在日数	・日帰り ・宿泊(→具体的な日数は記入いただく)	—
MA	9-1	利用状況・評価	宿泊先 ※「宿泊」回答者対象 ※複数施設利用も想定されるため、MAとしたが、最も長く滞在した施設に限定してSAとするのも一案	・柚子の家 ・おおだ山荘 ・無形の家 ・藤野倶楽部(結びの家、キャンピングカー等) ・藤野芸術の家 ・陣溪園 ・日相園 ・その他()	※満足度(5段階評価、①全体・②通信環境)も把握 5:満足 4:やや満足 3:どちらともいえない 2:やや不満 1:不満 ※現時点では、実証実験計画案記載の施設を中心に掲載 (場合によっては自由記述とすることも想定)
FA	9-2	利用状況・評価	宿泊先(評価理由)	上記評価に至った理由を記載いただく	—
MA	10-1	利用状況・評価	仕事を行った場所 ※複数施設利用も想定されるため、MAとしたが、最も長く滞在した施設に限定してSAとするのも一案	・宿泊先 ・森のイノベーションラボFUJINO(森ラボ) ・藤野倶楽部 ・その他()	※満足度(5段階評価、①全体・②通信環境)も把握
FA	10-2	利用状況・評価	仕事を行った場所(評価理由)	上記評価に至った理由を記載いただく	—
MA	11-1	利用状況・評価	滞在中の食事	・宿泊施設による提供 ・外食(宿泊施設やワーク拠点等の周辺店舗) ・デリバリーサービスや出張料理人の活用 ・自炊(レトルト・インスタント食品等) ・自炊(食材を購入して調理) ・その他()	※満足度も把握
SA	11-2	利用状況・評価	滞在中の食事(評価理由)	上記評価に至った理由を記載いただく	—
MA	12-1	利用状況・評価	体験コンテンツ	・森林体験 ・発電体験(太陽光発電システムDIY) ・機織り・養蚕体験 ・侍、日本文化体験 ・衣の自給自足制作 ・かご編み、植物雑貨制作体験 ・民族楽器制作 ・ガチャガチャ玩具による発想法ワークショップ ・組織イノベーション創発ワークショップ ・その他()	※具体的な選択肢はコーディネーターと調整の上、確定。 ※満足度も把握
MA	12-2	利用状況・評価	体験コンテンツ(満足度理由)	上記評価に至った理由を記載いただく	—

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	13	評価	<p>参加動機（期待したこと）</p> <p>①実施前の期待度（5段階）</p> <p>5：期待していた</p> <p>4：やや期待していた</p> <p>3：どちらともいえない</p> <p>2：あまり期待していなかった</p> <p>1：期待していなかった</p> <p>②実施後の評価（5段階）</p> <p>5：期待を上回った</p> <p>4：やや期待を上回った</p> <p>3：どちらともいえない</p> <p>2：やや期待を下回った</p> <p>1：期待を下回った</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定型的業務の生産性向上</li> <li>・ 創造的業務の生産性向上</li> <li>・ 心身のリフレッシュ</li> <li>・ 業務へのモチベーションを高める</li> <li>・ 業務への集中力を高める</li> <li>・ 家族と過ごす時間を増やす</li> <li>・ 自律・自己管理的な働き方の実現</li> <li>・ 趣味等、自由な時間を確保する</li> <li>・ 働く環境（Wi-Fi 環境、オフィス機器等）の質を高める</li> <li>・ 社内コミュニケーションの強化</li> <li>・ 新たな交流・人脈づくりの機会の創出</li> <li>・ 新たなビジネスや企画等のヒントを得る機会創出</li> <li>・ その他（）</li> </ul>	※選択肢は R2 アンケート参考
MA	14 - 1	評価	ワーケーション実施にあたっての不安（実施前）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オン/オフの切替が難しいのではないか</li> <li>・ 業務効率が低下するのではないか</li> <li>・ 社内コミュニケーション（ワーケーションを実施する者と社内等で業務に従事する者との間）が低下するのではないか</li> <li>・ 顧客等外部対応に支障が出るのではないか</li> <li>・ 情報セキュリティの侵害があるのではないか</li> <li>・ ワーケーションによるメリットがないのではないか</li> <li>・ 実施中の仕事の適切な評価が難しいのではないか</li> <li>・ その他（）</li> <li>・ 特になし</li> </ul>	<a href="http://teleworkkakudai.jp/event/pdf/telework_soumu.pdf">http://teleworkkakudai.jp/event/pdf/telework_soumu.pdf</a>
SA	14 - 2	評価	ワーケーション実施にあたっての不安（実施後）	※上記で選択した不安毎に実施してみての実感を把握（実施してみると心配なかったことをチェック）	—
SA	15	評価	総合的な満足度	5段階評価	—

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
SA	16-1	評価	推奨度（知人・同僚に対して）	10段階評価→推奨者の割合から批判者の割合を引いて算出 9～10：推薦者 7～8：中立者 0～6：批判者	※参考（推奨度（NPS）の考え方） <a href="https://www.nttcoms.com/service/nps/column/20200825/">https://www.nttcoms.com/service/nps/column/20200825/</a>
FA	16-2	評価	推奨度（理由）	上記評価に至った理由を記載いただく	—
SA	17	評価	ワーケーションに対する意向（全般）	5：定期的に実施したい 4：不定期で実施したい 3：どちらともいえない 2：あまり実施したいとは思わない 1：実施したいとは思わない	—
SA	18	評価	ワーケーションに対する意向（実証実験エリアへの再訪意向）	5：訪れたい 4：やや訪れたい 3：どちらともいえない 2：あまり訪れたくはない 1：訪れたくはない	—
FA	19	評価	感想・要望		※ヒアリングの際、感想・要望の記載をベースに、ワーケーション等を拡大するために取り組むとよいと考えられるアイデアや行政等に求められる支援のあり方などを深掘りする。
SA	20-1	リニア中央新幹線に対する意向	リニア中央新幹線開業後の（仮称）神奈川県駅周辺地域に対する関心	5：関心がある 4：やや関心がある 3：どちらともいえない 2：あまり関心がない 1：関心がない	※他の中間駅も含めて、一般的な利用意向を聞くべきかは要検討（R2アンケートで関連する内容＜ビジネスでの利用意向有無、利用しない場合の理由、リニア開通による中間駅ごとに想定される影響＞は把握している） ※参考（長野県） <a href="https://www.pref.nagano.lg.jp/kotsu/kurashi/kotsu/shisaku/documents/dai3syou_3.pdf">https://www.pref.nagano.lg.jp/kotsu/kurashi/kotsu/shisaku/documents/dai3syou_3.pdf</a>
FA	20-2	リニア中央新幹線に対する意向	リニア中央新幹線開業後の（仮称）神奈川県駅周辺地域に対する関心（理由）	上記回答に至った理由を記載いただく	—
SA	21	FS（基礎情報）	性別	・男性 ・女性 ・答えない	・クロス集計時の活用を想定
SA	22	FS（基礎情報）	年代	・20代以下 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代以上	・クロス集計時の活用を想定
FA	23	FS（基礎情報）	居住地	都道府県・市区町村（自由記述）	・クロス集計時の活用を想定
FA	24	FS（基礎情報）	勤務地	都道府県・市区町村（自由記述）	・クロス集計時の活用を想定
SA	25	FS（基礎情報）	世帯構成	・一人暮らし ・配偶者と同居 ・配偶者・子どもと同居 ・子どもと同居 ・親・配偶者と同居	・クロス集計時の活用を想定 ※選択肢は R2 アンケート準拠

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・親・配偶者・子どもと同居</li> <li>・親・子どもと同居</li> <li>・その他</li> </ul>	
SA	26	FS（基礎情報）	業種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・林業・漁業</li> <li>・鉱業・採石業・砂利採取業</li> <li>・建設業</li> <li>・製造業</li> <li>・電気・ガス・水道・熱供給業</li> <li>・情報通信業</li> <li>・運輸業・郵便業</li> <li>・卸売業・小売業</li> <li>・金融業・保険業</li> <li>・不動産業・物品賃貸業</li> <li>・学術研究・専門・技術サービス業</li> <li>・宿泊業・飲食サービス業</li> <li>・生活関連サービス業・娯楽業</li> <li>・教育・学習支援業</li> <li>・医療・福祉</li> <li>・複合サービス事業</li> <li>・その他のサービス業</li> <li>・公務</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定（特にターゲット像に掲げた「クリエイティブ系業種」の意向把握）</li> </ul> ※選択肢は R2 アンケート準拠
SA	27	FS（基礎情報）	職種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理（会社役員、その他の法人・団体の管理職員等）</li> <li>・専門・技術①（設計・開発・製造・建築・情報等の技術者）</li> <li>・専門・技術②（医師、弁護士、経営、金融等）</li> <li>・専門・技術③（情報処理、ソフトウェア開発等）</li> <li>・専門・技術④（教員、保育士、栄養士等）</li> <li>・専門・技術⑤（美術家、デザイナー、音楽家等）</li> <li>・事務（人事、総務、医療・介護等）</li> <li>・販売（商品販売、営業等）</li> <li>・サービス（保健医療、生活衛生、接客等）</li> <li>・保安（警察官、消防員等）</li> <li>・農林漁業</li> <li>・生産工程（製品製造、加工処理、機械組立等）</li> <li>・輸送・機械運転（バス・電車等の運転士、クレーン運転、航海士等）</li> <li>・建設・採掘（大工、左官、電気工事作業員等）</li> <li>・運搬・清掃・包装等（郵便集配、ごみ収集等）</li> <li>・その他（ ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定（特にターゲット像に掲げた「クリエイティブ系職種」の意向把握）</li> </ul> ※選択肢は R2 アンケート準拠
SA	28	FS（基礎情報）	勤務先で適用されている勤務時間制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレックスタイム（一定の時間内で始業・終業時刻を自分で調整できる）</li> <li>・変形労働時間制（一定の期間だけ勤務時間が異なる）</li> <li>・交代制（昼/夜シフト等）</li> <li>・育児等のための短時間勤務（育児や介護など特定の理由に基づいて短時間勤務が適用されている）</li> <li>・裁量労働制・みなし労働（法律上の適用を受ける専門職、営業職、企画職等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※参考（（独法）労働政策研究・研修機構）</li> <li><a href="https://www.jil.go.jp/institute/research/documents/research020.pdf">https://www.jil.go.jp/institute/research/documents/research020.pdf</a></li> </ul>

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間管理なし（裁量労働制・みなし労働時間以外で、管理職などの場合）</li> <li>・上記に該当しない（通常の勤務時間制度）</li> </ul>	
SA	29	FS（基礎情報）	テレワーク実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日以上テレワークを行っている</li> <li>・週3～4日テレワークを行っている</li> <li>・週1～2日テレワークを行っている</li> <li>・月1～2日テレワークを行っている</li> <li>・テレワークは行っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定</li> </ul> ※選択肢は R2 アンケート準拠
SA	30	FS（基礎情報）	テレワーク方法（最も多いもの） 「テレワークは行っていない」以外の回答者対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務</li> <li>・モバイルワーク（カフェ、図書館、電車内等）</li> <li>・サテライトオフィス勤務（所属するオフィス以外の他のオフィスや遠隔勤務用の施設）</li> <li>・その他（）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロス集計時の活用を想定</li> </ul> ※選択肢は R2 アンケート準拠
SA	31-1	FS（基礎情報）	ワーケーション・レジャー実施状況（それぞれ把握）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施したことがある</li> <li>・実施したことがない</li> </ul>	<b>【レジャー】</b> ビジネスとレジャーを組み合わせた造語、出張等の機会を活用して出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむこと ※参考（観光庁「新たな旅のスタイル」）
FA	31-2	FS（基礎情報）	ワーケーション実施状況（実施地域、都道府県単位） ※ワーケーションを「実施したことがある」が対象（実施形態は不問）		—

(3) 受入地域向け(宿泊施設用) ※アンケートの結果、実際に利用があった施設、継続に前向きな施設を対象にヒアリング調査を想定

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	1	実施状況	受入時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月</li> <li>・ 8月</li> <li>・ 9月</li> <li>・ 10月</li> <li>・ 11月</li> </ul>	—
SA	2	実施状況	受け入れた企業数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1社</li> <li>・ 2社</li> <li>・ 3社</li> <li>・ 4社</li> <li>・ 5社以上</li> </ul>	—
SA	3	実施状況	受け入れた人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5名未満</li> <li>・ 5～10名未満</li> <li>・ 10～20名未満</li> <li>・ 20～30名未満</li> <li>・ 30～40名未満</li> <li>・ 40～50名未満</li> <li>・ 50名以上</li> </ul>	—
MA	4	実施状況	準備したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PRの強化(ウェブサイトの改修、チラシ配布等)</li> <li>・ 感染症対策の強化</li> <li>・ Wi-Fi環境の改善</li> <li>・ 施設の改修</li> <li>・ 客室のアメニティ充実</li> <li>・ テレワークに資する設備の充実(モニター貸出し、会議室の用意等)</li> <li>・ 送迎サービスの実施</li> <li>・ 食事メニューのリニューアル</li> <li>・ 周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・ その他()</li> <li>・ 特になし</li> </ul>	—
MA	5	評価	<p>参加動機(期待したこと)</p> <p>①実施前の期待度(5段階)</p> <p>5:期待していた 4:やや期待していた 3:どちらともいえない 2:あまり期待していなかった 1:期待していなかった</p> <p>②実施後の評価(5段階)</p> <p>5:期待を上回った 4:やや期待を上回った 3:どちらともいえない 2:やや期待を下回った 1:期待を下回った</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該エリアの認知度の向上</li> <li>・ 宿泊施設の認知度の向上</li> <li>・ 新しい客層の掘り起こし</li> <li>・ 企業による利用増加</li> <li>・ 収益の増加</li> <li>・ 新しい事業やビジネスのヒント獲得</li> <li>・ 周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・ 地域の賑わい創出</li> <li>・ その他()</li> </ul>	—

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	6-1	評価	ワーケーション受け入れにあたっての不安（実施前）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の準備に関して手間が増えるのではないか（Wi-Fi 環境整備等）</li> <li>・実証実験の実施に関して手間が増えるのではないか（企業への対応等）</li> <li>・利用者が特に増加しないのではないか</li> <li>・感染症対策が十分にできないのではないか</li> <li>・企業ニーズに合ったサービス提供が難しいのではないか</li> <li>・繁忙・閑散期と企業の受け入れ時期のミスマッチが生じるのではないか</li> <li>・その他（）</li> <li>・特になし</li> </ul>	—
SA	6-2	評価	ワーケーション受け入れにあたっての不安（実施後）	※上記で選択した不安毎に実施してみたの実感を把握（実施してみると心配なかったことをチェック）	—
SA	7-1	評価	総合的な満足度	5段階評価	—
FA	7-2	評価	総合的な満足度（理由）	※上記評価に至った理由を記載頂く	—
SA	8	評価	ワーケーション等の受け入れ意向	5：積極的に受け入れたい 4：可能な範囲で受け入れたい 3：どちらともいえない 2：あまり受け入れは考えていない 1：受け入れたいとは思わない	—
SA	9	評価	今後、新たに取り組んでみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRの強化（ウェブサイトの改修、チラシ配布等）</li> <li>・感染症対策の強化</li> <li>・Wi-Fi 環境の改善</li> <li>・施設の改修</li> <li>・客室のアメニティ充実</li> <li>・テレワークに資する設備の充実（モニター貸出し、会議室の用意等）</li> <li>・送迎サービスの実施</li> <li>・食事メニューのリニューアル</li> <li>・周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・その他（）</li> <li>・特になし</li> </ul>	—
FA	10	評価	感想・要望	※自由記述	※ヒアリングの際、感想・要望の記載をベースに、ワーケーション等を拡大するために取り組むとよいと考えられるアイデアや行政等に求められる支援のあり方（上記の「今後、新たに取り組んでみたいこと」含む）などを深掘りする。
FA	11	FS（基礎情報）	規模（客室数）	客室数を記載	—
FA	12	FS（基礎情報）	回答者情報	事業者名、氏名、連絡先（TEL、メールアドレス）	・別途実施するヒアリング調査のために把握



(4) 受入地域向け(体験コンテンツ等の提供者用) ※アンケートの結果、実際に利用があった施設、継続に前向きな施設を対象にヒアリング調査を想定

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	1	実施状況	受入時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月</li> <li>・ 8月</li> <li>・ 9月</li> <li>・ 10月</li> <li>・ 11月</li> </ul>	—
SA	2	実施状況	受け入れた企業数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1社</li> <li>・ 2社</li> <li>・ 3社</li> <li>・ 4社</li> <li>・ 5社以上</li> </ul>	—
SA	3	実施状況	受け入れた人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5名未満</li> <li>・ 5～10名未満</li> <li>・ 10～20名未満</li> <li>・ 20～30名未満</li> <li>・ 30～40名未満</li> <li>・ 40～50名未満</li> <li>・ 50名以上</li> </ul>	—
MA	4	実施状況	準備したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PRの強化(ウェブサイトの改修、チラシ配布等)</li> <li>・ 感染症対策の強化</li> <li>・ 施設、設備の改修</li> <li>・ プログラムの新設、リニューアル</li> <li>・ 利用料金の見直し</li> <li>・ 周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・ その他()</li> <li>・ 特になし</li> </ul>	—
MA	5	評価	<p>参加動機(期待したこと)</p> <p>①実施前の期待度(5段階)</p> <p>5:期待していた 4:やや期待していた 3:どちらともいえない 2:あまり期待していなかった 1:期待していなかった</p> <p>②実施後の評価(5段階)</p> <p>5:期待を上回った 4:やや期待を上回った 3:どちらともいえない 2:やや期待を下回った 1:期待を下回った</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該エリアの認知度の向上</li> <li>・ 体験コンテンツ等の認知度の向上</li> <li>・ 新しい客層の掘り起こし</li> <li>・ 企業による利用増加</li> <li>・ 収益の増加</li> <li>・ 新しい事業やビジネスのヒント獲得</li> <li>・ 周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・ 地域の賑わい創出</li> <li>・ その他()</li> </ul>	—

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
MA	6-1	評価	ワーケーション受け入れにあたっての不安（実施前）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験の準備に関して手間が増えるのではないか（プログラムの構築等）</li> <li>・実証実験の実施に関して手間が増えるのではないか（企業への対応等）</li> <li>・利用者が特に増加しないのではないか</li> <li>・感染症対策が十分にできないのではないか</li> <li>・企業ニーズに合ったサービス提供が難しいのではないか</li> <li>・繁忙・閑散期と企業の受け入れ時期のミスマッチが生じるのではないか</li> <li>・その他（）</li> <li>・特になし</li> </ul>	—
SA	6-2	評価	ワーケーション受け入れにあたっての不安（実施後）	※上記で選択した不安毎に実施してみての実感を把握（実施してみると心配なかったことをチェック）	—
SA	7-1	評価	総合的な満足度	5段階評価	—
FA	7-2	評価	総合的な満足度（理由）	※上記評価に至った理由を記載頂く	—
SA	8	評価	ワーケーション等の受け入れ意向	5：積極的に受け入れたい 4：可能な範囲で受け入れたい 3：どちらともいえない 2：あまり受け入れは考えていない 1：受け入れたいとは思わない	—
SA	9	評価	今後、新たに取り組んでみたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRの強化（ウェブサイトの改修、チラシ配布等）</li> <li>・感染症対策の強化</li> <li>・施設、設備の改修</li> <li>・プログラムの新設、リニューアル</li> <li>・利用料金の見直し</li> <li>・周辺の宿泊施設や観光事業者等との情報共有、連携</li> <li>・その他（）</li> <li>・特になし</li> </ul>	—
FA	10	評価	感想・要望	※自由記述	※ヒアリングの際、感想・要望の記載をベースに、ワーケーション等を拡大するために取り組むとよいと考えられるアイデアや行政等に求められる支援のあり方（上記の「今後、新たに取り組んでみたいこと」含む）などを深掘りする。
MA	11	FS（基礎情報）	提供した体験コンテンツの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林体験</li> <li>・発電体験（太陽光発電システムDIY）</li> <li>・機織り・養蚕体験</li> <li>・侍、日本文化体験</li> <li>・衣の自給自足制作</li> <li>・かご編み、植物雑貨制作体験</li> <li>・民族楽器制作</li> <li>・ガチャガチャ玩具による発想法ワークショップ</li> <li>・組織イノベーション創発ワークショップ</li> <li>・その他（）</li> </ul> ※コーディネーターと調整の上、確定	※高橋氏の提供資料を参考

種類	NO	項目	設問	選択肢	備考
FA	12	FS（基礎情報）	回答者情報	事業者名、氏名、連絡先（TEL、メールアドレス）	・別途実施するヒアリング調査のために把握